

第38回警察庁政策評価研究会要旨

1 日時

令和3年7月7日（水）午後3時30分から午後5時53分までの間

2 出席者

○ 委員（五十音順）

内山 融 東京大学大学院総合文化研究科教授
木村 光江 日本大学大学院法務研究科教授（座長）
野口 貴公美 一橋大学大学院法学研究科教授
横山 淳 株式会社PMAグループ代表取締役

○ 警察庁

植田 秀人 政策立案総括審議官
河原 淳平 サイバーセキュリティ・情報化審議官
堀 誠司 審議官（犯罪被害者等施策担当）
猪原 誠司 審議官（刑事局・犯罪収益対策担当）
新田 慎二 審議官（交通局担当）
阿部 文彦 長官官房参事官
小堀龍一郎 保安課長
花井 稔 犯罪収益移転防止対策室長
宮内 彰久 運転免許課長
大門 雅弘 長官官房調査官

3 報告事項

- (1) 令和3年度国家公安委員会及び警察庁における政策評価実施計画について
- (2) 令和2年度政策評価実施結果報告書（案）について

4 議題

- (1) 令和2年度実績評価書（案）について
- (2) 令和3年度実施施策に係る政策評価の事前分析表（案）について
- (3) 規制の事後評価書（案）について
- (4) 令和4年度国家公安委員会及び警察庁における政策評価実施計画（案）について

5 議事要旨

- (1) 報告事項について、事務局から説明があった。研究会委員からの意見等はなかった。
- (2) 議題(1)及び(2)について、担当審議官及び事務局による説明の後、質疑応答が行われた。研究会委員の意見等の概要は以下のとおり。

○ 基本目標3・業績目標2「オレオレ詐欺をはじめとする特殊詐欺の捜査活動及び

予防活動の強化」について、特殊詐欺の分類が多すぎるということはないのか、また、個別に統計を取っているのか。

- 基本目標 4・業績目標 1「歩行者・自転車利用者の安全確保」について、最近の自転車と歩行者との交通事故数の増加は、警察が広報・啓発活動に力を入れた結果、報告が増えたことが原因ではないか。
 - 基本目標 4・業績目標 1「歩行者・自転車利用者の安全確保」及び業績目標 2「運転者対策の推進」について、なぜ各業績指標の目標を「令和 2 年から 29.6%以上減少させる」としたのか。また、この目標の難易度というのはどの程度なのか。
 - 基本目標 4・業績目標 2「運転者対策の推進」について、「広報・啓発」といった施策の具体的な効果測定は行っているのか。
 - 基本目標 4・業績目標 3「道路交通環境の整備」について、二酸化炭素の排出量は、ハイブリット車等の普及の影響を考慮しているのか。
 - 基本目標 4・業績目標 3「道路交通環境の整備」について、バリアフリー化の割合が下がってきているのはどのような事情によるものか。
 - 基本目標 6・業績目標 1「犯罪被害者等に対する経済的支援・精神的支援等総合的な支援の充実」について、目標の達成のためにどのような体制で裁定を行っているのか。また、増員等の今後の展望はどうか。
 - 基本目標 6・業績目標 1「犯罪被害者等に対する経済的支援・精神的支援等総合的な支援の充実」について、参考指標として中央値を入れてみてはどうか。
 - 基本目標 6・業績目標 1「犯罪被害者等に対する経済的支援・精神的支援等総合的な支援の充実」について、長期的には裁定期間だけではない評価にしていく必要があるのではないか。
 - 基本目標 7・業績目標 1「サイバーセキュリティの確保とサイバー犯罪・サイバー攻撃の抑止」について、組織的なケイパビリティについての指標を追加してみたいか。
- (3) 議題(3)について、担当課長等による説明の後、質疑応答が行われた。研究会委員の意見等の概要は以下のとおり。
- ア 銃砲刀剣類所持等取締法の一部を改正する法律により新設された規制及び風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律の一部を改正する法律により新設された規制
 - 空気銃に係る指定射撃場は、猟銃に係るものとは別なのか。また、運営主体は民間事業者なのか。
 - イ 道路交通法の一部を改正する法律により新設された規制

- 便益の金銭価値化を検討してみてもいいか。
- ウ 犯罪による収益の移転防止に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係政令の整備等に関する政令により新設された規制
 - 取引時確認が行われた件数は把握しているのか。していないとすると、どのように実効性を担保しているのか。
- (4) 議題(4)について、事務局から説明があった。研究会委員からの意見等はなかった。

以 上